

# 宮城県 商工連合会報

第 286 号

発行所 仙台市青葉区上杉一丁目14番2号  
 宮城県商工振興センター内  
 宮城県商工会連合会  
 TEL. 022(225)8751  
 FAX. 022(265)8009  
 URL.http://www.miyagi-fsci.or.jp/  
 発行者 天 野 忠 正  
 印刷所 株式会社高橋プリント

## がんばろう宮城

宮城県商工会連合会・県下33商工会



綴じ込んで保管しましょう

### 第27回大崎バルーンフェスティバル

今年で第27回となる日本気球連盟公認の熱気球全国大会が岩出山で開催されます。

スカイスポーツの普及・啓蒙を図るために開催され、約30機のバルーンが伊達な小京都岩出山の上空で競技を展開、また、気球体験試乗(先着200名)・大崎商工会青年部による売店・他関連イベントが多数実施され、大人から子供まで楽しめる内容となっています。

(気象状況等により日程が変更される場合があります)

- ◆開催期間／平成24年11月23日(金)～25日(日)
  - ◆場 所／大崎市岩出山江合川あったか河川公園
  - ◆時 間／6:30～15:00(25日6:30～12:00)
  - ◆交 通／JR仙台駅から東北新幹線で15分・古川駅下車、JR陸羽東線に乗り換え岩出山駅から徒歩10分。東北自動車道・古川ICから車で20分。
- お問合せ:大崎バルーンフェスティバル実行委員会(大崎市岩出山総合支所産業建設課内)0229-72-1215

## C O N T E N T S

- 商工会長セミナー・会長会議 ----- (2)
- 秋の叙勲受賞 ----- (2)
- ニッポン全国物産展 ----- (3)
- 商工会事業の紹介(栗原南部商工会) ----- (3)
- 復興への道標  
 (多賀城・七ヶ浜商工会、登米中央商工会) ----- (4)
- 復興への道標(南三陸商工会) ----- (5)
- ある日の指導員日誌から ----- (5)
- 中小企業大学校からのご案内 ----- (6)
- 特許出願等復興支援制度のご案内 ----- (6)
- 経営豆知識、融資・経営相談会のご案内 ----- (7)
- 青年部・女性部コーナー ----- (8)

# 支援体制の強化は巡回訪問と 職員のスキルアップ！

## — 商工会長セミナー・商工会 長会議 —

商工会長セミナー・商工会長会議が去る九月二十五日、蔵王町バーデン家壮鳳を会場に開催された。

商工会長セミナーでは、全国商工会連合会の寺田範雄専務理事を講師にお招きし、「商工会を取り巻く環境の変化について(中央情勢)」と題して、約一時間半講演が行われた。

寺田専務理事は、東日本大震災後の商工会の対応に触れ、「未曾有の大震災の発生

直後から行われた素早い支援物資の提供や多額の義援金の拠出等に代表されるように、全国的に会員数が減少し、組織が弱体化しつつある中で、全国の商工会組織の強さを改めて実感することができた」と述べた。

また、八月三十日施行になった「中小企業経営力強化支援法」や「ちいさな企業」未来会議」を巡る一連の動きに触れ、「今後の中小企業支



講演する全国連寺田専務理事

援体制については、商工会の原点に立ち返って会員への巡回訪問を強化し、国・県等中小企業施策の情報迅速に提供するとともに、高度化・専門化する経営支援ニーズに対応するために、職員の人材育成と資質向上が極めて重要である」と強く訴えた。

引き続き、商工会長会議が開催され、被災商工会地区の復旧・復興状況及び本会のサポートインリーダーを中心としたグループ補助金申請の支援状況について報告。また、組織率低下が懸念される中であって、いかに会員の加入推進を図るかにについて協議を行った。



商工会長会議の様様

## 栄えある受章等おめでとうございます

この度、商工会関係で次の方々を受章等の榮譽に浴されました。

### 平成24年文化の日表彰 (産業功労)



館股秀隆氏  
(玉造商工会会長)



秋葉薫氏  
(丸森町商工会会長)

### 平成24年秋の叙勲 (旭日単光章)



鈴木仁和子氏  
(前宮城県商工会  
女性部連合会会長)



森益朗氏  
(前加美商工会会長)



武藤利孝氏  
(前大崎商工会会長)



大森一衛氏  
(前石巻市牡鹿稲井  
商工会会長)

# 地域力宣言二〇二一 「ニッポン全国物産展 in大丸京都店が開催」

「日本全国の秋の味と技」をテーマに、ニッポン全国物産展 in 大丸京都店が、九月十二日～十八日の七日間開催された。

全国商工会連合会主催の本物産展は、全国各地の地域資源と事業者の創意工夫によって生み出され、物産品の販路を拓げる機会となつている。地域の自慢の商品を抱え七十五事業者が出店した。

宮城県では「甘ったれうどん」「ずんだ餅」、「牛タン弁当」、「笹かまぼこ」を販売し、本会職員も店頭で呼び込みを行いながら、宮城の味を来場者へ紹介した。

「東北の復興に向けて」というキャッチフレーズで東北の物産品が特別にPRされたこ



故：熊谷元県連会長  
去る7月29日逝去  
されました。心より  
哀悼の意を表します。



大勢の買い物客で賑わう物産展



熱心に商品をPRする販売風景

ともあり、支援として商品を購入し、励ましの言葉をかけていただく客の姿も見られた。全国から応援をいただいている期間を販路開拓へ活かすべく、出店事業者は熱心に商品の魅力を来場者へ伝えていた。

## 商工会事業の紹介

### 「全国展開支援事業」 「着地型観光開発の推進」 栗原南部商工会

栗原南部商工会では「平成二十四年度小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業」の調査研究事業の採択を受け、現在事業を推進中です。

本事業は「地域の資源、強みを活用して、これまでに無い新しい取り組みを全国に展開することを支援する」事業です。更に三年度にわたり継続実施できる事業であり、栗原の観光資源を全国に向け発信する絶好の機会となります。

当該支援事業の中から選択したのは「観光開発事業」です。地域資源を活用した新たなサービス事業や観光資源のPRなど、観光に関する事業及びその普及に関する事業で



野菜の収穫体験を経験するメンバー

あり、一年目となる今年度は地域内の観光資源の洗い出しと、着地型観光開発に向けた観光ルートを作成することを目的にしました。

六月に本事業の方向を見定める「運営委員会」と、地域事業者を中心とした「ワーキンググループ」を立ち上げ、事業を開始いたしました。

ワーキンググループは毎月開催し、これまで地域資源再発見のための「SWOT分析」や委員オリジナルの「観光ルート作成」といった作業を行っていきます。

去る八月二十日～二十二日の三日間、先進地調査研究会を実施し、観光都市として世界に名を馳せる北海道ニセコ町を訪れました。

(株)二世古楽座の運営する「ニセコアグリガーデン」で旬の野菜の収穫体験を行い、代表でもありニセコ町商工会長の工藤達人氏に運営手法を伺うことが出来、調査員たちは栗原地域でも実践できる手

ごたえを感じました。  
次いで、平成十五年に観光協会として、全国初の株式会社化した(株)ニセコリゾート観光協会を訪れ、設立から現在の運営について調査を行いました。

観光都市「ニセコ」の中核部である本法人のコンセプトは、①地域経営会社②行政依存体質からの脱却③柔軟で市場変化に対応した意思決定システム④地域の商品化による産業連携の促進とニセコ業の創造の四つです。

最後に、観光でまちづくりを進めてきたニセコ町役場を訪れ、観光推進と産業育成の観点からの調査を行いました。

今後はオリジナル観光ルートを精査し、栗原地域に多くのお客様が訪れる、魅力ある観光ツアー商品として旅行会社へ売込む予定です。



観光推進策について意見交換する場面



新鮮な材料を加工する従業員

地元産の魚類を原料にした商品を手掛ける水産加工会社として、一九三八年に祖父が始めた「かねきち」が母体。八十五年に現会社名に改称し、焼き魚や総菜など水産加工食品約二十種類を製造し、北海道・東北・首都圏で販売している。

**復興への道標⑩**

## 「地域の雇用創出と復興に繋ぐ」

### (有力ネキチ阿部源食品)

#### 多賀城・七ヶ浜商工会

震災により、従業員や本社工場は無事だったが、塩釜市の第二工場は地震で地盤沈下し、給排水設備が損傷し、更には、仙台港近くの冷凍庫が津波被害を受け、約三千万円

分の商品が流され、大きな被害を受けた。そんな中、一時は廃業も考えたが、取引先より多くの励ましの声や、各方面からの支援を受け決意を新たにし、時間がかかったが再開に漕ぎつけることが出来た。今まで支えられてきた地域の方々に、恩返しをしたい、

私が出来た事は、やはり会社を通じての地域貢献であると思いい、頑張ってみようという気持ちで湧いてきた。

そこで以前から気にかけていたアナゴの小骨を、上手く処理できないか考えた結果、ハモの骨切りにアイデアを得て、アナゴ用骨切り機を独自に制作、稼働率も向上し好評を得ている。

各物産展に「アナゴ蒲焼」を出品した結果、百貨店バイヤーの目に留まり、注文数が増えてきている。

「大地震と大津波」は地域の活力を奪い去ってしまったが、そこで立ち止まるわけに

はいかない。少しでも地域の活力に繋がりたいと信じている。

**【企業概要】**

企業名：有限会社カネキチ阿部源食品  
 業種：水産加工業  
 代表者：阿部 源造  
 所在地：宮城県宮城郡七ヶ浜町  
 遠山5丁目5番55号  
 TEL：022-367-6100  
 URL：http://kanekichi-abegen.com/index.html

**復興への道標⑪**

## 「従業員が一致団結して創業」

### (株)菓音菓子舗

#### 登米中央商工会

震災により私達が直面したのは、働いていた老舗菓子店の全壊・廃業という現実でした。しかしそれは、従業員であつた私達の復活へのスタートでもありました。

職場は失いましたが、幸い経験豊富なスタッフが揃っており、何より菓子作りへの情熱はその後も皆変わりません

でした。菓子店を再開したいという思いで従業員がひとつになりました。

その私達を店の復活を望むたくさんのお客様の声が後押しして下さいました。

このような時、会社設立、営業再開へと動き出した私達を熱心にご指導、ご支援していただいたのが登米中央商工

会さんです。事業計画のため経営の基本からご指導いただきました。

お陰をもちまして震災から五ヶ月後の八月十日に新店舗のオープンにこぎ着けることが出来たのです。

その後、震災前の店を超える菓子店にしたいと、新商品の開発、毎月のイベントなど全員で意見を出し合い、工夫を凝らしながら店づくりに取り組んでいます。

現在の和洋菓子に加えて今後パンの製造販売も計画しており、応援をしてくださる地域の皆様のためにも、より魅力のある菓子店にしていきます。

**【企業概要】**

企業名：株式会社菓音菓子舗  
 業種：菓子製造販売  
 代表者：鈴木 広  
 所在地：宮城県登米市迫町  
 佐沼字萩洗2丁目1-15  
 TEL：0220-23-2552

元従業員達の団結した大きなパワーがあり、それを支えてくれる多くの理解者・支援者がいて、私達は復活することができました。仕事のあることの幸せ、皆様への感謝の気持ちをお忘れずに、これからも力を合わせて頑張っていきます。



おしゃれな雰囲気の店舗外観



新しく完成した会社の外観

そんな時、避難所に商工会の会報が届けられました。見ればグループ補助金の募集要

平成が始まる年に家業の海産物屋を継ぎ、これまで少しづつ拡げてきた本社工場、第二工場、自宅は一瞬のうちに波にさらわれ、茫然と立ちつくすしかありませんでした。家族を仙台の親戚に預け、中学校の体育館で寝泊りしていた私は、しばらくは行方不明者を捜索したり、物資の運搬などを手伝っていたところ、ある日、店のあった場所から3km程離れた海岸に看板が漂着していると知らされます。全て流失して、唯残ったものが看板とは。もう一度最初から商売をやり直せという創業者の声が聴こえたようでした。その日事業の再建を決意し、避難所の体育館で新工場の図面を書き始めました。

# 復興への道標18 グループ施設等復旧整備補助 事業を活用し再生 (株)及新

## 南三陸商工会

領でした。だめもとで応募を決定しましたが、流失した会社の印鑑登録カードを仙台に行つて再発行するところから始めなければなりません。申請書を作成するためにパソコンを買い、なんとか締切までに書類を作成できました。運良く一次募集で採択され、ワカメの新物シーズンに新工場を稼働させることができましたが、一次募集の段階では制度の全体像が見えず、事業申請を控え目にしたため、新工場の補助率は結果的に四分の一となつてしまいました。

しかし、一次のタイミングだったからこそ、いち早く市場に戻ることができました。あの日体育館に届いた商工会報に感謝しなくてはなりません。

### 【企業概要】

企業名：(株)及新  
業種：水産加工業  
代表者：及川 孝浩  
所在地：宮城県本吉郡  
南三陸町歌津字  
伊里前 39  
TEL：0226-36-2013



## 「震災からの 復旧・復興に向けて」

名取市商工会  
主任主査

# 大友 豊



あの忌々しい東日本大震災から一年六ヶ月が経ちました。が、名取市は、閑上・下増田地区の沿岸部が津波により壊滅的被害を受け、廃業に追い込まれた会員事業所も多く、また、仮設店舗や仮設工場等で事業再建に努力している事業所もあるものの、未だ事業再建が出来ずにいる事業所もあり、震災の影響は非常に大きいものがあります。

震災当時、いままで経験したことのない状況のなかで、直ちに特別相談窓口を設置し、被災事業所の資金繰りや労務の相談、国等の支援施策活用支援等に無我夢中で対応しながらも、頭の中は「商工会として、職員として何が出るのか、何をしたら良いのか」を自問自答していました。

しかし、出た答えは特別なことではなく「必要な情報をいち早く入手し、迅速かつ着実に提供し、誠意をもって対応すること」、すなわち商工会が常日頃行っている事こそが、この状況の中で最も重要な業務だと改めて認識させられました。

そうした迅速な情報提供を実践しながら、中小企業基盤整備機構による仮設店舗・工場施設の整備においても、被災された会員のニーズをいち早く取りまとめ、市に対し設置の要望を行うとともに、中小企業等グループ施設復旧整備補助事業では、一次募集時より計画策定申請の支援を行うなど、被災事業所の一日も早い復興を願い、支援業務に取り組んで参りました。

現在、被災地は建築制限により現地再建が出来ない状況にあることから、被災事業所の多くは仮の施設での一時的な事業再建であり、今後、市が策定した復興計画に基づき街の再建が行われるものの、本格的な復興への道程はまだまだ遠いものがあります。

今後も、国・県・市等の様々な支援施策を活用し、会員の方々の復旧・復興の一助になるよう経営支援に取り組んでいきたいと思っております。

## 東北六県 中小企業で働く社会人のための“母校” 中小企業大学校仙台校 平成24年度研修日程表一覧（12月以降開催分）

仙台校は、従来からご好評いただいているコースは継続しながら、“攻めと守りの両面から”経営に、人材育成に取り組んでいただけるよう、さらなる充実を図りました。人財を育て、経営に活かす。“人と経営を結ぶ”研修の中小企業大学校を計画的にご活用ください。

研修内容	研修No	研修テーマ	実施期間・(定員)	受講料(円)
<b>企業経営・経営戦略</b>		<b>経営を考える、計画をたてる</b>		
◇東北に根ざす企業として取るべき戦略を、有識者の講義や先進企業事例から学ぶ	12-28	経営トップセミナーⅢ 東北の企業戦略	25.1.11 (30名)	15,000
◇予防のための取引先審査と、危機管理型の債権回収で経営の守りを固める	12-29	与信管理のための 財務と法務	25.1.21~1.22 (20名)	21,000
<b>能力開発</b>		<b>ビジネスに必要な能力を高める</b>		
◇やる気を引き出し、自ら解決できるようサポートする“コーチング”手法を具体的・実践的に身につける	12-32	部下育成のための コーチング	25.2.13~2.15 (30名)	27,000
◇複雑化する職場問題を整理して解決する“論理的思考力”自社課題を使って訓練	12-33	管理者のための 論理的思考力訓練	25.3.6~3.8 (30名)	27,000
<b>人事・組織</b>		<b>人を育てる、仕組みをつくる</b>		
◇部下一人ひとりの個性や価値観を尊重しながら、効果的な指導で組織力を高める	12-31	組織を活性化する 仕組みづくり	25.1.29~1.31 (30名)	27,000
<b>生産管理</b>		<b>すべては現場から始まる</b>		
◇5S活動に改めて焦点をあて、目で見える管理による様々な“現場改善”の手法を実践的に学ぶ	12-30	管理者のための 現場改善の 進め方	Winter 25.1.22~1.25 (20名)	34,000
◇経営の視点から工場全体の仕組みを見直し、ムダを排除する！	12-27	実践！工場の 仕組み改善講 座	Winter 24.12.13~12.14 25.2.22 (20名)	30,000

※受講料・研修日程等は変更になる場合があります。また人気コースにつきましては、追加開講も予定しています。詳細は、お問い合わせ下さい。

### 【お問い合わせ・お申込み先】

中小企業大学校仙台校 〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合 4-2-5

受託事業者：NTN共同事業体（TAC株式会社）

ホームページ：www.smrj.go.jp/inst/sendai 「仙台校」で検索！

Tel：022-392-8811 Fax：022-392-8812（24時間 365日受付）

E-Mail：sen-kenshu@smrj.go.jp

いますぐ検索！  
いますぐ連絡！

### 制度の内容

#### ◆援助対象者

- 被災地の復興に貢献する発明・考案・意匠を創作した、
- 被災地にお住まいの個人
  - 被災地に住所を有する中小企業・協同組合等
  - 被災により被災地域外に転居した個人又は中小企業・協同組合等

#### ◆援助の内容

発明等について特許出願等をするときに必要となる弁理士の報酬及び経費並びに特許庁の手数料の全部又は一部を援助します。  
この援助金は返済する必要がありません。

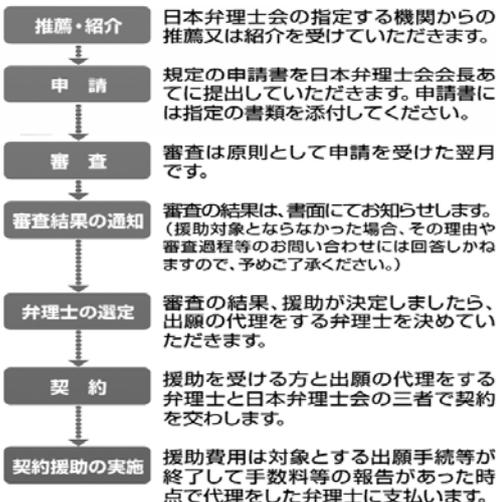
#### ◆審査

所定の公共機関による推薦又は紹介を原則として、日本弁理士会が審査します。

#### ◆秘密の厳守

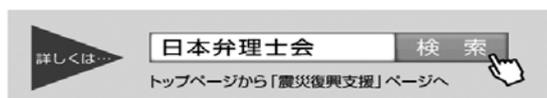
援助対象発明等の内容及び援助を受ける個人及び法人の情報は適切に管理し、本制度の目的以外で利用することはありません。

### 利用の流れ



特許出願等復興支援制度

日本弁理士会  
〒100-0013  
東京都千代田区霞が関3-4-2  
In 03 1 3 5 8 1 1 1 2 1 1 (代)



●お問い合わせ先  
**日本弁理士会 専用フリーダイヤル**  
日本弁理士会知的財産支援センター事務局  
**0120-19-2723**  
(受付時間：平日 9時～17時)

経営豆知識

# 最終期限間近い「金融円滑化法」

## 1 金融円滑化法とは

中小企業が金融機関に借入金の返済負担の軽減を申し入れた際、金融機関は、できる限り条件変更や返済猶予に応じる努力義務を定めたものである。

平成21年12月、同法が施行されたものであるが中小企業の業況、資金繰りが依然として厳しいことから平成22年12月及び同23年12月と二度に亘って期限が延長され、最終的には平成25年3月31日まで延長されたものである。

## 2 同法の効果及び問題点

金融庁の発表によると平成24年3月末までの中小企業の貸出条件変更の申し出は、313万4千件、うち92.3%が応諾されているという。これらの数値からも、条件変更申込の対応は、定着しているものと思われる。一方で条件の再変更、即ち、再リスケ、再々リスケが増加傾向にあるともいわれている。

ついては、厳しい経営環境が長期化する中、中小企業の業績が回復しなければ金融円滑化法の終了を機に支援を打ち切る事例が増加することが予想される。これまでは正常債権に区分されていたが今後は「要管理債権」（不良債権）となるという問題が予測されるからである。但し、中小企業向け融資の場合には、「経営改善計画」は、貸出条件変更時より最長1年以内に策定し、経営再建を5年以内（最長10年）に達成すれば良いとされている。これにより同法終了後、直ちに不良債権に再区分されることにはならない。

しかし、計画進捗状況が余りにも低調な場合、債務者区分が見直される可能性が大きく、事後の資金調達面における影響度は極めて大きいものといえる。

## 3 出口戦略に向けての諸施策

政府、金融庁は、金融円滑化法の終了を見据え、種々の施策を打ち出している。

平成23年12月、金融庁は、中小企業の事業再生支援に軸足を移行させる方針を明確にした。具体的な支援措置として「産業復興機構」「東日本大震災事業者再生支援機構」等の創設である。

更に、平成24年4月、「中小企業の経営支援のための政策パッケージ」を公表、特に金融機関によるコンサルティング機能の一層の強化策を掲げた。

## 4 今後の課題

終わりに、最終期日の間近い「金融円滑化法」を踏まえ、特に、条件変更済み事業者を対象に金融機関取引上の留意点を列記してみたい。

- ①事業主（債務者）自身が経営課題を正確かつ十分に認識し、その経営課題に対し、真正面に向き合い、経営改善、事業再生等に主体的に取り組むことが最重要であり、基本姿勢であるとも思われる。
- ②同時に、取引金融機関とのコミュニケーション強化が特に必要である。自社の経営課題について、キメ細かな助言、コンサルティング支援依頼、状況によっては外部関係者を仲介依頼、解決策を模索するのも必要不可欠手段といえる。
- ③金融円滑法終期及び出口戦略強化に備え、各金融機関とも態勢強化する等積極的な対応ぶりが伺える。また、前述「産業復興機構」「東日本大震災事業者支援機構」等、種々の制度、組織が創設されている現状であることから、商工会では随時相談を受け付けているので、早めに対応することが、問題解決の近道である。

### 融資・経営相談会

### 開催のご案内

融資・資金繰り相談、二重ローン問題等解決するため「融資・経営相談会」を開催します。

一、開催日時・会場は左のとおり

- 開催日
  - 11月20日（火）：石巻商工会議所
  - 11月21日（水）：古川商工会議所
  - 11月22日（木）：仙台商工会議所
  - 11月26日（月）：大河原町商工会
  - 11月27日（火）：栗原南部商工会  
（志波姫支所）
  - 11月28日（水）：気仙沼魚市場
- 開催会場
- \*開催時間10時～16時（各会場共通）

### 二、内容

- 一部（10時～11時）
  - ・金融等施策説明会
  - ・金融施策説明
  - ・二重ローン対策説明
  - ・支援施策説明等
- 二部（11時～16時）
  - ・個別融資、経営相談会
  - ・参加料 無料
- 三、問合わせ先
- 四、問合わせ先

宮城県商工会連合会産業支援班  
022122518751

# IMPULSE

## 青年部 コーナー

**本県代表 田中寛史君(女川町)**  
 惜しくも最優秀賞の栄冠に届かず  
 一東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会



ヒーローから声援を受ける様子

第十九回東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会並びに商工会青年部主張発表会  
 北・北海道ブロック大会が、去る十月十七日、岩手県盛岡市「盛岡グランドホテル」を会場に、本会青年部員三十七名参加の下、盛大に開催された。  
 初めに主張発表大会が行われ、東北六県・北海道商工会青年部の各道県大会を勝ち抜いた代表者七名が、自分達の青年部活動や経営体験を通して得た喜びや誇りを、十分間の持ち時間で熱弁を奮った。  
 本県代表の田中寛史君(女

川町)は、女川町商工会青年部員や本県青年部員の応援を受け、さらに、女川町の復興願う同志のリアス戦士イーガーを従えて、威風堂々と青年部活動を通して、自分自身の意識・経営姿勢が変わって行く気持ちや行動をと発表したが、残念ながら全国大会(徳島県)への進出には至らなかった。  
 また、株式会社アテナンリユニオン代表取締役の立石裕明氏より「大震災からの事業再生」と題して講演があり、引き続き盛大な交流会が開催され、終始和やかな雰囲気の中で交流が図られ本研修会は幕を閉じた。

なお、主張発表大会の結果は次の通り。  
 ○最優秀賞 福島県代表 押田 洋平君(矢祭町)  
 ○優秀賞 宮城県代表 田中 寛史君(女川町)  
 東北六県商工会青年部連合会 東日本大震災復興支援、絆、交流野球大会  
 九月二十五日、グリネックススタジアム宮城で、東北六県のチームによる野球大会が開催された。  
 宮城県代表チームは一回戦山形県と対戦し、4-1で勝利したが、第二試合で秋田県に1-3で敗れた。各試合とも白熱した熱戦が繰り広げられ、終始楽しいひと時を過ごした。  
 また、試合結果は次の通り。  
 ○優勝 岩手県青連  
 ○準優勝 秋田県青連



## 女性部 コーナー

**商工会女性部  
はんなりと**  
 一第十四回商工会女性部全国大会in京都

第十四回商工会女性部全国大会が十月十六日、京都府京都市「国立京都国際会館」を会場に、本県参加者二十八名を含む全国各地より約二千六百名の女性部員参加のもと盛大に開催された。

主張発表大会では、全国各ブロックの予選を勝ち抜いた六名の代表者が発表を行った。  
 昨年度は震災の影響で東北・北海道ブロックが出席しなかったため審査が見送られたが、今年度は厳正な審査が行われ、関東ブロック代表(静岡県由比町商



大会会場風景

工会)の望月利江さんが、由比町の特産品である桜エビをモチーフに商工会が「さくらゆいちゃん」というキャラクター図を制作し、女性部が地道なPR活動を行った結果、漁協、農協、観

光協会との協力により、キャラクターの着ぐるみを誕生することができた。また、ゆるキャラコンテストへ出場したことで、町全体で「さくらゆいちゃん」を育てていこうという気運が高まり、グッズや商品ラベルに利用されるなど地域振興に寄与したことを発表し、見事最優秀の栄冠に輝いた。  
 基調講演では服飾評論家の市田ひろみ氏より「のれん」を守って生きてきた京の底力」と題して講話をいただいた。参加者は日本和装師会会長、エッセイストなど多方面で活躍する市田氏の講演に熱心に耳を傾けていた。  
 来年度の全国大会は愛媛県にて行われる。

**~女性部員増強運動・商工会女性部  
カード加入促進運動展開中!~**

9月1日から12月31日まで女性部員増強運動及び商工会女性部カード加入推進運動を展開しています。女性部員を増やし、より一層力強い組織として地域を盛り上げていきましょう。  
 商工会女性部カードは、セブンカード機能に部員証機能と商工会サービス加盟店でのご優待が付き、さらに女性部にも還元されるカードとなっておりますのでぜひご加入下さい。

— \$ 安い掛金で大きな安心 \$ —  
**宮城県火災共済グループ**

火災共済



自動車共済



その他 各種共済

共済金額を限度に損害額を全額補償する  
 「新総合火災共済」をお勧めします。(住宅・併用住宅のみ)

**先ずはお見積を!!**

民間の損害保険会社の地震保険を取扱っております  
 あるいは直接 宮城県火災共済協同組合 宮城県中小企業共済協同組合  
 TEL 022(263)1265 FAX022(267)2878

お問い合わせ・お申込みは

お近くの商工会へ